



OMESOGO

愛されるチームに。愛される人に。



2024/5/16

高校総体東京都支部予選

2024年4月21日（日）、インターハイ東京都支部予選初戦を迎えました。相手は**昭和第一学園**です。今年度、**T3リーグ**に所属する格上のチームです。組み合わせ抽選後、格上との対戦に部員たちはどのような反応をするかとの顧問の心配をよそに、物怖じすることなく、**格上と戦えることを楽しみに**当日まで準備をしていきました。

小規模チームの宿命ですが、4月には新入生の勧誘と仮入部、新入部員への指導など、上級生は新入生の対応をしながら、自分たちの試合に向けた準備を進めなければなりません。それらを言い訳にすることなく、とにかく**我々ができること**に取り組み、しっかりトレーニングを重ねていきました。

当日は、相手の試合前の雰囲気の良い刺激を受け、集合時から良い緊張感をもった表情でした。アップも気持ちが入っており、なんとか一矢報いたいとキックオフに臨みます。チームとして、格上を相手に守備の場面が増えることは当然との認識をしながらも、ただ引いて守るのではなく、ちゃんと**組織的な守備**をしていこうと練習をしてきました。

前半はディフェンス陣を中心に全員が集中できており、コミュニケーションを取りながら相手の攻撃に対応していきます。ディフェンスラインがうまく機能し、相手の**オフサイド**を取れる場面も多く、相手攻撃陣も若干焦れた様子を見せていました。0-0で進んできた前半31分、相手が右サイドからあげた早いクロスで青総SBが跳ね返そうと身体を投げ出したところ、足にあたったボールが不運にも青総ゴールに吸い込まれます。**OWNゴール**で1点を与えてしまったものの、意気消沈することなく戦い続けます。40分には青総CBが相手FWを倒してしまい、PKとなりましたが、相手FWが外し**0-1で折り返します**。

相手のPK失敗も後押しし、0-1で後半を迎えるという上々の出来に、部員たちも気持ちを入れなおします。相手がハーフタイムで改善してくることは想定できたため、前半で出た**守備の課題を確認**し、どこかでチャンスが訪れることを信じ、そのチャンスをものにしようと思気込んで後半に臨みます。

後半も良い雰囲気で入れましたが、相手攻撃陣も交代によりフレッシュになり、ロングボールをうまく使いながらサイドからの攻撃を強めてきました。勢いに押されながらも、なんとか対応を続けていきましたが、後半10分、相手MFのすばらしい**ミドルシュート**でついに2失点目を喫します。2点差になったとこ

ろで、取り返しにいこうと青総も攻撃の枚数を増やします。しかし後半 23 分に青総 GK のキックミスが不運にも相手に渡り、3 失点目を与えてしまいます。

なんとか 1 点取り返そうと攻撃の比重をあげますが、相手も甘くはありません。ゴール前まで運びシュートまでいくことは何回かできましたが、決定機とはなりません。最終的には後半 30 分、31 分、40 分とダメ押しされ、完全に力負け。最後は攻撃にかなりシフトしたとはいえ、しっかりと点を重ねていく昭和第一学園に、**格上の力**というものを感じました。

結果としては 0-6 という数字になってしまいましたが、部員たちは**最後まで果敢に戦い続けて**くれたと思っています。部員たちはこの結果に打ちひしがれているかと思いきや、「2 点分はオフサイドだった」とか「意外にやれた」とか、**ポジティブ?**なのか、格上と公式戦で戦えたことで得られたものがありました。

3 年生は**選手権まで時間が**ない、と燃えています。3 年生最後の選手権、少しでも良い景色が見られるように、新たに迎えた新入部員も含め、チーム全員で努力を積み重ねていきます。引き続き応援よろしくお願いたします。

